

A (国語) 採点基準

「採点基準」で処理できない場合は、各校の統一見解で採点されたい。

問題	配点	正答	例	備考	
1 8点	八点	①	く(れる)	②	ゆる(やかな)
		③	だんしょう	④	しやそう
		⑤	設(ける)	⑥	短(く)
		⑦	階段	⑧	推測
2 12点	(一) 二点 (二) 二点 (三) 三点 (四) 二点 (五) 三点	イ			
		ウ			
		後藤田コーイチが自分の方を向いたことで、自分の名前が呼ばれることを期待したが、呼ばれたのは二年生の先輩の名前だったから。			* 文章の展開に即して登場人物の心情を読み取り、的確にまとめる力をみる問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 ・ 歩が目の前が真っ暗になった理由を的確にとらえているか。 ・ 後藤田コーイチの行動とその行動から歩が期待した内容にふれて書きあらわしているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。 * 部分点可。
		エ			
		「まだ次がある。来年がある」と考えている自分と「今年で最後」と執念を燃やす河合さんとの、大会にかける思いの強さに差があること。(六十三字)			* 文章の展開に即して登場人物の心情を読み取り、的確にまとめる力をみる問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 ・ 歩が分かったことを的確にとらえているか。 ・ 一年生である歩の思いと、歩が想像した、三年生である河合さんの思いにふれて書きあらわしているか。 ・ 本文中の言葉を使つて的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 字数の不足・超過については一点を減じる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。 * 部分点可。
3 12点	(一) 二点 (二) 二点 (三) 二点 (四) 三点 (五) 三点	ウ			
		生まれた川			
		ア			
		サケが海の物質を含んで川を遡り、クマがサケを食べて森を養うことで、森が豊かになること。(四十五字)			* 文章の展開に即して内容をとり、的確にまとめる力をみる問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 ・ 「サケが森林を育てる」という言葉があらわしていることを的確にとらえているか。 ・ 海の物質が「サケが森林を育てる」ことによつてどのようにかわつていくかを明らかにしているか。 ・ 本文中の言葉を使つて的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 字数の不足・超過については一点を減じる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。 * 「遡」の漢字表記は「遡」も可。 * 「養」の漢字表記には厳密な正確さを求めない。「ふん」も可。 * 部分点可。
		エ			

7 点	4	(一)	二点	候いぬべし		
		(二)	二点	㊦		
		(三)	三点	心が勇猛で、情けもある人柄で、以前から親しい間柄であったから。 (三十一字)	<ul style="list-style-type: none"> * 文章の展開に即して内容をとらえ、的確にまとめる力を見る問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 葛西の岩波前司の人柄を的確にとらえているか。 ・ 江戸氏との間柄を的確にとらえているか。 ・ 現代語で的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 字数の不足・超過については一点を減じる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。 * 部分点可。 	
5 点	5	(一)	一点	ウ		
		(二)	二点	低学年のみなさんが楽しむ		
		(三)	二点	イ・オ	<ul style="list-style-type: none"> * 両方正答の場合のみ、二点。 * 順不同。 	
6 点	6		六点	<p>(例一)</p> <p>私が季節を感じるときは、秋祭りの踊りの練習をしているときである。</p> <p>私の住む地域では、夏休みが終わると、踊りだの練習が始まる。練習を始めたときは、まだ暑い日もあるが、祭りの本番が近づくと、次第に空気がひんやりしてくる。そのとき、私は季節が夏から秋になつたと感じる。</p> <p>このように、日常生活のふとした瞬間に、季節を感じる時がある。私は、季節を感じる心をこれからも大切にしていきたい。</p> <p>(百九十八字)</p> <p>100</p> <p>200</p> <p>(例二)</p> <p>私の家からは、山が見えます。山は季節によって様々な表情を見せてくれます。</p> <p>春には柔らかな緑に包まれ、穏やかな景色に心が和みます。夏には青々とした木々が茂り、力強さを感じます。秋には紅葉が美しく、色とりどりの景色に引き込まれ、そんな気持ちになります。冬には雪に覆われ、ひっそりとして静かな、景色に自然の厳しさを感じます。</p> <p>このように、季節によって様々な表情を見せてくれる山から、私は季節を感じます。</p> <p>(百九十八字)</p> <p>100</p> <p>200</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 自分の考えや感想をまとめ、的確に伝わるように適切に書きあらわす力を見る問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「季節を感じる時」として、自分の考えを明確に書いているか。 ・ 自分の「季節を感じる時」を具体的に取り上げ、取り上げた理由がわかるように書いているか。 ・ 自分の考えが的確に伝わるように、書きあらわしているか。 * 出題の趣旨に合っていればよい。 * 字数の不足・超過については、二十字以内の場合は一点を減じる。二十字を超える場合は二点を減じる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方、原稿用紙の使い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。三か所以上あるものは二点を減じる。 * 部分点可。 	
	合計 五十点					